

部活動などの活躍

あらかわお弁当レシピコンテスト

奨励賞 ○○○○くん(1-1)
佳作 ○○○○さん(1-2)、○○○○さん(1-2)、
○○○くん(1-2)、○○○○さん(1-3)

荒川区小論文コンテスト

校長会賞 ○○○○さん(2-2)
佳作 ○○○○さん(3-1)、○○○○さん(1-4)

荒川区図書館を使った調べる学習コンクール

奨励賞 ○○○○さん(2-2)

防災標語コンクール

優秀作品 ○○○○さん(1-1)

《日本漢字能力検定》

2級 ○○○○さん(1-2)
準2級 ○○○○くん(2-1)

《パソコン部》

第18回毎日パソコン入力コンクール冬季大会
第5部和文A中学生部門入賞



○○○○さんの作品
「訓練は 命を守る リハーサル」
はのぼりとなり、玄関や各階入り口に
掲示されています。



空手選手権出場

○○○○くん(1-4)
第32回東京都中学生空手道選手権大会 敢闘賞

本校に空手部はありませんが、校外のクラブ
チームで活躍する生徒もいます。



南千住マイスターのコーナー

が、さらに大出力の火力発電所が、隅田川対岸の千住桜木に建設され
れました。それがかの有名な「おぼけ煙突」の発電所です。4本
の煙突が見る角度により、1本にも2本にも、3本、4本にも
見えたという高い煙突です。お化け煙突のルーツは、千住火力
発電所です。さらに、東京スカイツリーのデザインを監修した
元東京芸術大学学長で現名誉教授の澄川喜一氏は、このお
化け煙突をモチーフとして、見る角度によって輪郭線が変わっ
て見えるスカイツリーをデザインしたといわれています。つまり、
スカイツリーの原点も辿っていくとお化け煙突、そして東京電
灯千住発電所ということになります。

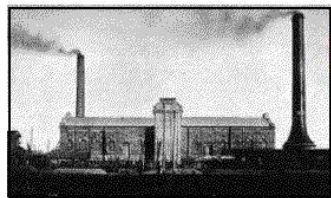
さて、この東京電灯千住火力発電所は、現在南千住二中
の校舎が建っている場所にありました。特徴的な2本の煙突と
ドーム型の屋根は、南千住二中の校舎上部のデザインに取り
入れられていると思われれます。つまり、南千住二中そのものが
大切な史跡だといえます。まさに南千住二中が取り組む地域
学習の原点も、またここにあるのです。

明治初期、急速に近代化を進める日本。南千
住地域は、その象徴ともいえる千住製絨所をはじ
め、多くの近代工業の拠点として発展してきまし
た。この工業を支えるためには当然電力が必要とな
ります。電力をほとんど有しなかった江戸の時代か
らわずか数十年で大きな電力が必要となったので
す。そこで近代的な工業が多くあるこの南千住に
できたのが「東京電灯千住火力発電所」です。

日本初の電力会社「東京電灯」が1906(明
治39)年に開業させました。原動機に蒸気タービン
を用いる現在の火力発電所の先駆けとなる発電
所として名を残しています。出力4500kWで、当時としては大規模
な火力発電所でした。この電力は周辺の工場に送られ、近代工業の発
展になくてはならない電力となっていました。

やがて水力発電の台頭により、1917(大正6)年に閉鎖されま
す

南千住の交通と産業 最終回 『東京電灯千住火力発電所』



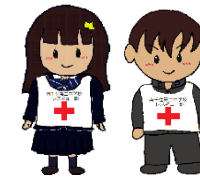
東京電灯
千住発電所



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成31年3月
第93号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

卒業生へ ～プラス思考で歩いていこう～

校長 齊藤 進

卒業おめでとうございます。

皆さんは、人生は運命だと思いませんか、それとも選択だ
と思いませんか。つまり、自分が生まれたことも育った環境も
あらかじめ決められて、その後身の周りに起きる出来事も
すべて運命であるか、それとも、家を選んで生まれたわけではないが、人生は
自分の意思でひとつひとつの決めていく、すなわち人生は選択であるか、という
問いです。さて、どちらを選びますか。



この問いに正解はありません。しかし、実際の生活では、今日着ていく洋服は何に
しようか、何を食べようか、高校はどこを受けようか、などひとつひとつ自分の意思で
決めているのです。

運命だと思つと、こうなったのは運命だから仕方がない、などとあきらめたり、投げやり
になったりとなかなかプラス思考で考えることができません。ぜひ、人生は選択である
と思ひ、自らの道を切り拓いていきましょう。

最後に、つぎの言葉を贈ります。「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》を
選択してください。もちろん、はじめからやらないほうを選択したら、やらなくて結構です。

もし、迷ったら《やる》を選択してください。結果はどうあれ自分の意思で決めたこと
で自信が身につく、人生を前向きに捉えようとプラス思考で生きることができるから
です。

私自身も常にこの言葉を胸に、日々の生活(人生)に生かしています。

もう一度言います。
「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」。

プラス思考で歩いていこう!



3年生 卒業までの日々

卒業おめでとう！

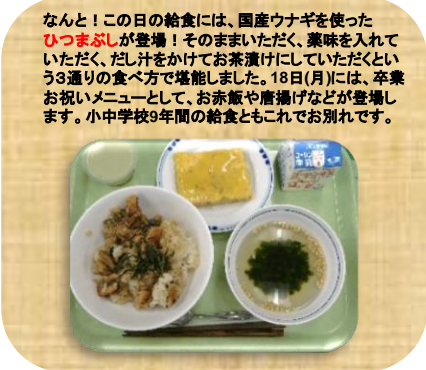
3月7日(木)

5・6校時に、「ようこそ青年海外協力隊」が開かれました。この会は、青年海外協力隊員として実際に国際社会で活躍・貢献した皆さんをお招きしてお話を聞き、国際交流や異文化理解、国際協力について考え、理解しようとするものです。

この日はケニアに2度わたり、1度目は初等教育養成学校で理数科教育に携わり、2度目は鍼灸マッサージ師として障がい者学校で指圧・あんま技術の指導者として働いた〇〇〇〇さん、ウズベキスタンの障がい者支援センターで美術や日本文化の教師として活動した〇〇〇〇さん、マーシャルの小学校で算数や日本文化、平和学習などの授業を行った〇〇〇〇さん、住民の栄養改善を目指し、インドネシアの小学校を巡って、学校保健の授業を行った〇〇〇〇さんの4人の方にご来校いただきました。

4人とも青年海外協力隊(JICA)の一員として、自身の持つ専門知識を駆使し、発展途上の国々の教育・産業・インフラ整備などさまざまな分野で国際貢献をしてきました。現地での衣食住にわたる生活や仕事、風土を通して得た体験談は写真や映像などを交えて臨場感にあふれ、日本との違いに驚いたり、異文化を理解することの大切さを気づかせてくださるもので、世界の国々に関心をもつ機会になりました。ひとりひとりの力でできる国際協力を考えていきたいものです。

講師の皆さんによる分科会の様子。



なんと！この日の給食には、国産ウナギを使ったひつまぶしが登場！そのままいただく、薬味を入れていただく、だしをかけてお茶漬けにしていたという3通りの食べ方で堪能しました。18日(月)には、卒業祝いメニューとして、お赤飯や唐揚げなどが登場します。小中学校9年間の給食ともこれでお別れです。

3月8日(金) 卒業遠足

中学校生活最後の学年行事、東京ディズニーランドへの「卒業遠足」へ行きました。よく晴れた暖かな一日となり、3年生は朝早くから時間通りに南千住駅前に集合し元気いっぱいに出発。夢の国を班ごとに楽しみました。ファストパスをうまく使って園内を回り、中には10個近くのアトラクションに乗ることができたグループもありました。友だちとのたくさんの思い出ができた1日でした。



ご協力ありがとうございました

平成30年度 学校関係者評価のまとめ

平成30年度 学校関係者評価における自己評価		荒川区立南千住第二中学校	
No.	設 問	肯定% (昨年度)	学校の自己評価(考察)
1	教育目標・方針 「教育目標・方針は具体的に定まれている」	97% (96%)	教育目標「たくましい人」が確実に定着している。教育活動のあらゆる場面で意識的に取り組み、さらに実感できる教育活動を進めていきたい。
2	生徒の様子 「明るく楽しそうに生活している」	94% (94%)	生徒の肯定感高く、健全な学校生活を送れていると思われる。しかし、ごく少数の否定的な生徒を見逃すことなく、指導・支援を続けたい。
3	基本的な生活習慣 「生徒の服装・通学態度・あいさつがしっかりしている」	92% (90%)	校内の規律はほぼ目標を達成できているが、来校者へのあいさつが後退しているという評価もある。向上させるよう日々の指導を徹底したい。
4	生徒理解 「先生が努力を怠らないうえに理解している」	89% (89%)	生徒を励まし支援していることが評価されているが、生徒・保護者共に約10%が不十分と感じている。全生徒に目を配り、さらなる生徒理解に努めたい。
5	健康・安全・安心 「安全・健康・主体的に行動できる環境が整っている」	96% (94%)	毎月の避難訓練・安全指導に加え、レスキュー部の活動も成果をあげていると考えられる。生徒の意識も大変高い。さらなる向上を目指したい。
6	分かる授業 「楽しく分かりやすい授業が行われている」	84% (85%)	肯定的意見が多いが保護者の「わからない」の回答が20%近くある。授業公開を工夫するなどしたが、授業のようすをさらに知ってもらう改善を要す。
7	個に応じた指導 「学習進度・進級などに合わせた学習指導」	76% (86%)	一定の成果をあげてはいるが、評価結果を分析し、個に応じたきめ細かい指導やクラス分けの工夫等、効果的な方法を具体化していく必要がある。
8	学習習慣 「自主学習・家庭学習習慣・学習態度が整っている」	69% (67%)	自習教室の運営方法の工夫や学校としての家庭学習課題の明確化や学習習慣の定着化など、具体的な改善を必要とする。家庭と協力し推進していく。
9	情報教育 「ICTが効果的に活用されている」	85% (75%)	電子黒板の活用はかなり定着している。しかし、タブレットPCの不具合が多く、活用場面が限られてしまった。環境整備が必要である。
10	学校図書館の活用 「読書・学習に役立つ学校図書館が活用されている」	71% (70%)	生徒の肯定的な回答が多く、学校図書館の活用は、浸透している。授業における調べ学習等での利用・活用からさらなる学力の定着へと結びつけていく。
11	人権教育 「自他を大切に思い、差別のない人間関係を築いている」	91% (91%)	今後も教育活動全般において人権感覚を育てていくとともに、いじめ等の早期発見やそれに対処するシステムを強化していく。
12	道徳教育 「生命・思いやり・尊厳・道徳性を育んでいる」	84% (83%)	教育活動全体で道徳性の向上を図り、また、学校公開日に全学年道徳授業を公開、その後協議会を実施するなど道徳教育を推進している成果である。
13	教育相談 「教育相談室が充実している」	72% (76%)	生徒の評価が低いことについての分析をしっかりと行い、不安を抱える生徒を見落さず相談を待つのではなく、相談を必要とする生徒の発見に努めたい。
14	人間関係づくり 「学校行事・体験活動を通して人間関係を築いている」	94% (95%)	行事等を通じ、充実した体験活動が定着してきている。今後もさらに内容を充実させて、全生徒が所属感をもてるような教育活動を推進する。
15	自治的な活動 「学校行事・生徒会活動・委員会活動が充実している」	94% (92%)	生徒会活動を中心とした自治活動が定着している。関わりを実感できない生徒に所属感・成就感をもたせるさらなる工夫・発展をしていく。
16	情報発信 「学校裏面・学年報・日誌等の教育活動発信」	92% (92%)	情報発信は高い評価を得ている。今後も学校便り、学年便りの発行、学校ホームページの更新、情報配信システムの有効活用等を進めていきたい。
17	相談への対応 「生徒・保護者からの苦情・相談に適切に対応している」	91% (90%)	生徒や保護者からの相談に丁寧に対応している。今後も個や家庭に応じた相談に力を入れ生徒や保護者に適切に対応していきたい。
18	学校への参加 「公開講座(日)行事に参加しやすい」	93% (91%)	運動会や霜月祭等への保護者の参加は大変多い。土曜日授業公開、学校公開週間、保護者会等を魅力的なものにし、より参加しやすい設定を工夫したい。
19	地域への参加 「地域行事等への参加が盛ん」	87% (87%)	レスキュー部員を中心としたボランティア等の参加は定着した。一般生徒の参加者が多くなるよう、積極的に関与し、より充実させていきたい。
20	意見の反映 「保護者等の意見が受けとれ、教育活動の改善」	94% (91%)	肯定的な意見をいただくことが多い半面、意見・要望もある。さらにきめ細やかな対応をし、保護者に理解される充実した教育活動を展開していきたい。
21	基礎・基本の徹底 「基本・基礎・基本を徹底して身につける工夫」	86% (85%)	学習コンテストなどの取り組みが一定の評価を得ている一方、結果を基に基礎基本の定着に直結しているのか、指導法の工夫・改善に努めたい。
22	授業評価の活用 「授業評価を生かして授業改善に活用している」	89% (86%)	授業評価が授業改善に反映されていると感じている意見が多いが、保護者の「わからない」の回答が24%であった。保護者にも分かるように工夫をしたい。
23	進路指導の充実 「進路指導・進路実現に向けた進路指導」	87% (91%)	各学年のキャリア教育が定着している。進路指導に偏ることなく、3年間の計画的・継続的な進路指導を実践し、さらに充実させたい。
24	地域学習 「地域を学び地域に貢献する生徒の育成」	92% (89%)	地域学習が定着し、学年が上がるほど地域に対する意識も高い。3年間を見通した計画も確立しており、今後も推進していきたい。
25	JRC活動 「JRC活動・ボランティア活動等を実施する生徒の育成」	93% (89%)	レスキュー部の活動やボランティア活動等も充実し、JRC活動に対する意識が高くなった。今後も形骸化することなく活動を推進・発展していきたい。

○ 今年度もほぼ全項目において、肯定率が70～90%前後の高い評価を受けた。一方で、保護者の「よくわからない」の解答が多い項目もあり、教育活動の保護者への周知が今後の課題の1つでもある。

今年度ご協力をお願いいただきました学校関係者評価のまとめを掲載させていただきました。「だいたいあてはまる」「の合計です。詳しいデータ等は本校ホームページにて公開していますので是非ご覧ください。」

あらBOSAI



3月3日(日)に、「あらBOSAI」が南千住野球場にて行われました。これは、防災について楽しく学び、子どもたちの防災意識を高めることを目的に毎年開催されているもので、今年も南千住二中からは、1、2年生のレスキュー部員8人が参加しました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの小学生とご家族が訪れ、永久水利活用訓練や応急手当の仕方などの本格的な活動から、水消火器での当てゲーム、水害紙芝居、紙食器づくりなどのさまざまなプログラムを体験しました。レスキュー部員は、ポンプによる放水の模範演技から、救急処置の仕方などの指導役まで色々な方面で大活躍して、防災意識の向上に努めました。

あらBOSAI参加者



消防車に乗車する体験もできました。



自衛隊の皆さんと、はい、ポーズ！

1年生 邦楽鑑賞教室

3月8日(金)、サンパール荒川大ホールを会場にして、荒川区立中学校「伝統文化鑑賞教室」が行われました。南千住二中は、午前の部に1年生が参加。日本の伝統芸能である邦楽について舞踊、掛合、箏曲、合奏の4つのジャンルに分かれ、それぞれ「供奴」「喜撰」「さくら21」「越後獅子」の4演目が上演されました。幕間には、唄や三味線、囃子、琴、尺八などの音色や演奏の仕方、唄の掛け合いなどについて解説があり、尺八でルパン三世の五右衛門の登場シーンを再現したり、歌う順番が扇子を手にすることでわかるなどの注目ポイントが紹介され、生徒がたいへん興味をもってわかりやすく邦楽を楽しむことができました。「さくら21」では、お馴染みの「さくら」が六張の琴、十七弦という低音の琴、日本古来の弦楽器“胡弓”尺八による華やかな大合奏曲にアレンジされ、圧巻の演奏に身を乗り出して見入るなど、誰もが舞台を真剣に見入りました。日本の伝統芸能の表現力豊かな世界に触れた1日でした。



舞踊「供奴」



箏曲「さくら21」

地域清掃

JRC委員会

3月9日(土)、土曜授業公開日の3、4校時に、今年度2回目となる地域清掃を行いました。今回3年生は卒業に向けての校内美化活動を行うため、地域清掃には、1、2年生とご参加いただいた保護者の皆さま、教職員総勢およそ250名が参加しました。出発式では、注意事項などの説明につづいて、JRC委員長の〇〇〇〇さん(2-2)が「日頃お世話になっている地域を皆で力を合わせてきれいにしましょう」と力強く挨拶しました。その後、

鉄ばさみとゴミを入れるレジ袋を手に南千住の街に一斉に繰り出しました。清掃活動はおよそ1時間。道路脇の植え込みの中や側溝のふたの間まで目を配り、隅々まで一生懸命に地域の美化活動に努めました。

全校生徒が校庭に戻ってくると、大きなポリバケツはあっという間にあふれるほどになりました。その後JRC委員がゴミを分別して、作業に使う鉄ばさみや資源となる缶やペットボトルなどはきれいに洗って回収してもらいました。計画と準備、出発式の司会、最後の片付けまで行ったJRC委員の皆さん、ご苦労さまでした。そして、ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。

植え込みや側溝の中まできれいに清掃しました。



3月11日(月) 三年生を送る会

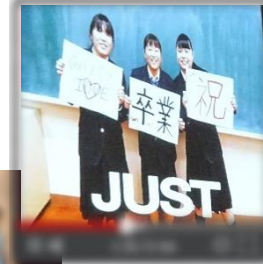
1校時に、1・2年生の生徒会本部と中央委員会が企画・運営する「3年生を送る会」が開かれました。会の進行は生徒会本部が務め、はじめに1・2年生を代表して生徒会長〇〇〇〇さん(2-4)から3年生へ感謝の言葉が送られました。つづいて1・2年生劇では、3年生にアンケートをしてまとめた3年間の思い出ベスト3が楽しく演じられました。そして、1・2年生全クラスで撮ったメッセージ入りの写真を〇〇〇〇くん(2-4)が一人で編集して作ったビデオメッセージが上映されました。ビデオの素晴らしい出来映えと心が込められたメッセージの数々に3年生からは拍手と感嘆の声が上がりました。最後に、3年生へ1・2年生一人ひとりの感謝の言葉を記したメッセージボードが贈られました。

3年生からは、前生徒会長の〇〇〇〇くん(3-3)から、「1、2年生と楽しく過ごせて私たちも嬉しかったです。ありがとうございます。」という感謝の言葉と、3年生全員によるレミオロメンの曲「3月9日」の合唱が贈られました。

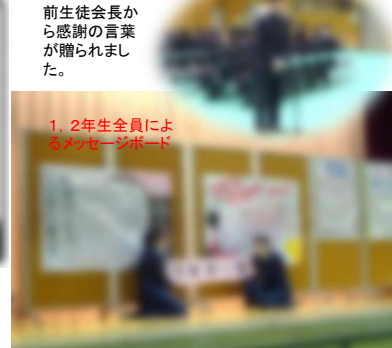
3月19日(火)には卒業式が行われます。この日のように全校で心をひとつにして、素晴らしい式になることを願っています。



3年生の思い出をまとめた寸劇は会場を笑いに包みました。



ビデオメッセージの出来映えにみんな大喜び！



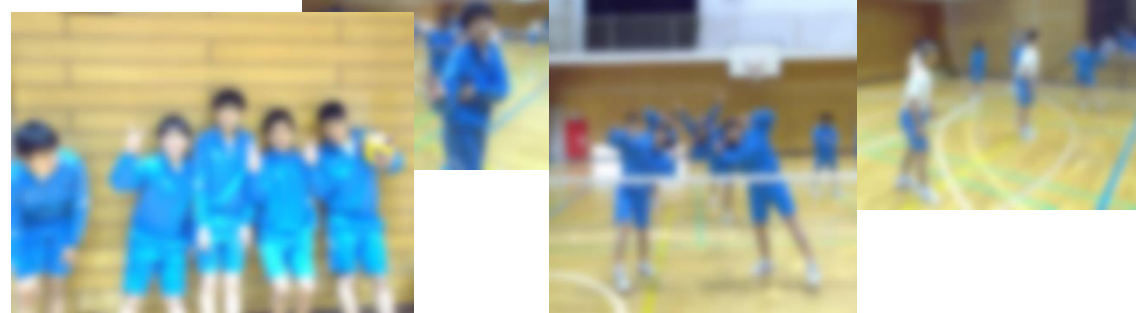
前生徒会長から感謝の言葉が贈られました。

1、2年生全員によるメッセージボード

3月12日(火) 球技大会

三送会の翌日の5、6校時には、「バレーボール大会」を開催。各クラスを7、8人の4チームに分け、6人制バレーが行われました。試合は勝ち残りを競うトーナメント式で予選が行われ、各クラスの勝者同士で決勝トーナメントを実施。予選トーナメントでは、クラスメートの応援に和気あいあいとした雰囲気だったのが、決勝トーナメントは一気にヒートアップし、会場は熱い声援と選手たちの授業では見せたことのないほどの真剣な表情、そして時々起こる笑いやさざめきに終始包まれました。最後に予選と決勝の総合点による結果が発表され、1位は同率で3組と4組、3位は1組でした。拍手とともに、お互いの健闘をたたえ合う姿が多く見られ、3年間ともに過ごした友だちとの楽しかった時間に思いを馳せました。

コートの中も外も笑顔あふれる3年生



3年間ありがとう！